# 令和７年度　第２回　東海村健康づくり計画推進委員会　議事録

【日　時】　令和８年２月１７日（火）　午後２時～午後３時２０分
【場　所】　保健センター　検診ホール２～３
【出席者】　◎：委員長　〇：副委員長　（順不同，敬称略）

住 民 委 員

◎佐藤　栄子，〇河合　視己人，磯前　勇，齋藤　周三，篠﨑　典子，
石丸　美代子，工藤　孝子，平田　文枝，渡辺　りつ子，江坂　木の実

関係機関委員

大沢　美由紀（ひたちなか保健所），吉成　亘弘（東海村社会福祉協議会）

関 係 課 職 員

坂本　拓哉（保険課），久光　喜世美（子育て支援課　代理出席），
石井　夏実（学校教育課），豊嶋　潤（生涯学習課）

事　務　局

髙橋　毅，平野　貴子，金澤　綾香，鳥居　静香，倉田　祐子，中島　愛実，
佐藤　美里，佐々木　菜津希（記録者）

【欠席者】住 民 委 員

佐竹　尚子，佐藤　佳代子

関係機関委員

鈴木　剛（東海病院）

関 係 課 職 員

ヴァキリ　幸（地域福祉課），齋藤　規子（総合相談支援課），
加藤　隆志（農業政策課），

１　開　　会　　進行　健康増進課　平野課長補佐
２　あいさつ　　髙橋課長
３　自己紹介
４　議　　題　　司会　佐藤（栄）委員長

（１）　第３次東海村健康づくり計画　中間評価報告書について
　資料１，２に沿って，鳥居係長より説明。

【意見等】

| | |
|---|---|
| **河合委員** | 達成状況の表の数値について，中間評価値の数値は，目標値の達成割合であるとのことだが，基準値・中間評価値・目標値と一覧に掲載するのであれば，同レベルでの数値で掲載する必要がある。委員間でも，認識の差が生じているため，改善の余地があると考える。 |
| **事務局** | 中間評価値の達成状況については，報告書 P5 に示す達成基準に基づいて |

| | |
|---|---|
| | いる。また，基準値は計画策定時の値，中間評価値は令和６年度に実施したアンケート調査の数値，目標値は最終的に目指したい数値であり，どの数値も同レベルで掲載している。<br>報告書 P9 の「毎日，野菜を 350ｇ以上食べている人の割合」について，例にとると，基準値：42.6%，中間評価値：38.6%，目標値：46%である。基準値と中間評価値で比較すると低下しているが，今回の達成基準は，目標値に対し，どれだけ達成してしているのかをみているので，目標値に対して，83.9%達成していると考えることができ，達成状況としては，Ｂ（概ね順調）評価としている。 |
| **吉成委員** | 評価方法について確認したい。<br>評価は，アンケート調査結果の数値的部分において，数的評価を実施している思う。地域の実態とどの程度一致しているかが気になる。質的評価として，自由回答など住民意見について，反映されているのか。 |
| **事務局** | 国，県等との比較で，村全体としての評価をしている。村内での地域性等，細分化しての方向性は特に示してはいないが，地域性はあると考える。<br>また，質的評価としては，①アンケート調査結果での自由意見（健康づくりに関する部分）②すこやか会議において，今回の調査結果等から見える健康づくりに関する課題について，住民としてどのような取り組みができるか，どのような環境だと良いかなど，話し合い，住民の意見として，報告書内に盛り込んでいる。 |

（２）　その他

【感想・ご助言等】第３次東海村健康づくり計画　中間評価について

| | |
|---|---|
| **石丸委員** | 個人の健康に関する意識や取り組みは，歳を重ねるごとに意識していくと感じる。<br>県の「いばらき元気アップ！リ」を活用しており，自ずと自分の健康管理につながると感じている。アプリの活用等については，県・村共に推進されていると思うが，あまり浸透されていないように感じる。<br>推進しているにもかかわらず，なかなか利用率の増加や住民の行動につながらないのは，何故なのかと感じた。住民が興味関心を持つことで，一人ひとりが健康づくりを進めていくことができるのではないかと考える。<br>この中間評価が，今後の健康管理の推進に役立つことを願う。 |
| **吉成委員** | 社会福祉協議会という立場で話すと，取り組みの分野「こころの健康」の部分にあたる，ストレスなどメンタル的な部分に着目する。中間評価では，比較的，運動習慣や検診受診率などで，一定の改善がみられたと数値的にみることはできる。アンケート調査は，住民からの意見ではあるが，改善 |

| | |
|---|---|
| | ができたと回答する方々は，そもそも健康意識が非常に高い方であり，その方々の傾向であるものと感じる。一方で，社会福祉協議会として，様々な相談支援の現場の中で感じるのは，外出機会の少ない独居の高齢者や障害者，子育てが忙しく，余裕がない保護者等，生活困窮や介護，孤立・孤独など，見えにくい健康課題である。計画後半や第４次計画等において，そのような視点も持ち，見えにくい健康課題へもアプローチしていくことが非常に大事な要素になると考える。なお，これは，健康づくり計画だけでなく，地域活動計画や行政の様々な個別計画についても同様であると考える。<br>福祉は，健康と直結するものである。行政間や関係団体等と情報を共有，連携し，一緒に考えていければと思う。 |
| **大沢委員** | 生きることに必死な時代から，質良く健康に生きることが現代である。市町村や地域において，各々の役割を担い，様々な取り組みをしていることに大変心強い。<br>石丸委員からも意見があったように，自分で関心を持ち，行動できるようにしていかないといけない。取り残されてしまう人，見えにくい健康課題や健康格差が現状ある。健康格差をどのように底上げしていくか。保健所においても，広域的な面で，東海村の意見等も有用に使い，他地域と比較検討をしていく。また，職域の方の健康も非常にポイントが大きい。健康経営という言葉もだいぶ普及しているが，企業や働き世代，壮年期は，体にそろそろ何かしら出てくる時期である。保健所では，地域職域連携会議を設けており，そこで働き世代へ何かアプローチ出来ないか考えている。 |

【関係各課の今後の取り組み】

※欠席された課の取り組みについては，事務局より代読で対応。

| | |
|---|---|
| **坂本職員（保険課）** | 当課は，高齢者の健康づくりと親和性が高いと感じている。<br>病気の早期発見につながるよう，健診受診率の向上を最重要課題として，引き続き取り組んでいく。<br>今年度の取り組みとして，後期高齢医療制度者を対象に，AI 分析を活用し，対象者別に合わせた内容かつナッジ理論を取り入れ，特定健診等の受診勧奨通知を実施したところ，今まで健診未受診だった方の想定以上の受診率向上につながった。<br>また，個別訪問を実施した。対面で，その方に応じたきめ細やかな対応ができたことは，受診率向上に寄与したものだと考える。<br>次年度も通知と個別訪問の両面からのアプローチで，受診勧奨の継続を実施し，住民の健康づくりに貢献していきたい。 |

| | |
|---|---|
| **久光職員（子育て支援課）** | 村立保育所では，減塩を意識して給食提供を実施。麺類等の提供時には，汁を残すなどの声掛けの実施。給食だよりによる，定期的な啓発。石神幼稚園等では，幼児とその保護者を対象とした野菜摂取レベル測定会を実施。毎月身体測定の実施や年 2 回のカウプ指数を確認することで，適正体重の管理につなげている。食文化については，七草がゆなど給食の献立に盛り込んだり，まゆ玉づくりなどの行事を取り入れている。食育の一環として，野菜を育て，収穫し，食べる一連の過程を学ぶ機会を設けている。歯科検診を年 2 回実施しており，むし歯の有する児童には，早期受診を促している。幼稚園，保育所の 4，5 歳児を対象にフッ化物洗口を実施している。 |
| **石井職員（学校教育課）** | 今年度の取り組みとして，オーガニック給食の提供を実施。12 月 17 日，白方小学校では，3 年生を対象に，生産者やイモゾーも交え，食育教室を実施し，オーガニックのさつまいもを使用した給食を提供した。広報とうかい 2 月 10 日号にも掲載している。前年度同様，小学生を対象にとうもろこしの皮むき体験を実施し，実際に皮むきしたとうもろこしを給食で食する経験，世界の食事を知ろうという観点から，台湾バナナ，台湾献立の提供を行っている。<br>また，とうかい減塩 day に合わせ，毎月 20 日は，塩分控えめの献立を提供している。給食だよりを毎月発行し，食育や健康に関する啓発をしている。ほかにも，肥満，痩せ，過食等の児童生徒には，栄養教諭による個別相談・指導を必要に応じ実施。 |
| **豊嶋職員（生涯学習課）** | 生涯学習課では，主にスポーツイベントに注力しており，健康づくりの一環でもある。東海村のスポーツの実施率の向上にむけ，年 1 回スポーツフェスタ，月 1 回ニュースポーツだョ！全員集合などの活動を実施。<br>令和 6 年度策定した東海村スポーツ推進計画において，成人の方の週 1 回以上のスポーツ実施率 60%以上を目標に掲げている。<br>東海村文化スポーツ振興財団と連携し，今年度ウォーキングイベントを実施しようと計画していたが，夏は熱中症や冬はインフルエンザ蔓延時期であったため，令和 8 年 4，5 月あたりに開催を計画中である。これは，東海村健康づくり計画の計画後半の重点目標のヘルスロード等を活用した健康行動の促進と合致しており，当課においても取り組んでいく。 |
| **事務局（地域福祉課）** | 取り組み分野「高齢者の健康」に関わる。計画後半の重点課題である，高齢者の健康づくり と フレイル ・重症化予防の推進として，出前講座等を通じ，地域サロンの場に出向くなど，住民の方々の心身の健康につながる取り組みを促していく。また，試行的に高齢者向けの買い物ツアーを実施予定。買い物ツアーでは，朝食を兼ねることで，地域サロン活動の支援 |

| | |
|---|---|
| | と外出助成の２つを促進することで，高齢者が外出しやすい環境を整えていく。 |
| **事務局（総合相談支援課）** | 取り組み分野「こころの健康」に関わる。悩みや不安を解消できる人の増加に向け，過年度から既に取り組んでいるものではあるが，中高生を対象として，不安や悩みを抱え，ストレスや困難，命の危機に直面したときに，誰に，どのように助けを求めればよいか，具体的な方法を学ぶことを目的として，「SOS の出し方に関する講座」の開催。中高生及び役場職員，見守り協定を締結している事業者等を対象とした，悩んでいる人に気づき，声をかけてあげられる人である，ゲートキーパーの養成講座の開催を予定している。 |
| **事務局（農業政策課）** | 取り組み分野「栄養・食生活・食育」，主な取り組みとしては，食育・地産地消と食文化を理解する人の増加に関わる。農業支援センターでは，地域農業の振興を図っている。現在，農業政策課において，策定している「東海村農業振興計画」の基本施策の一つに「地産地消を軸とした地域資源を生かす農業」を掲げている。村内の小売店の協力のもと，地場産物の購入機会の拡大や村内飲食店や学校給食での地場産品活用の推進などに今後も取り組む。具体的には，消費者へのアプローチとして，農産物購入を契機として食に興味関心をもってもらい，地産地消を図ることを目的に，東海村産の新鮮な農産物に「とうかい育ち」シールを添付し，シールを集めて応募すると抽選で新鮮な野菜がもらえるキャンペーン等を実施。健康増進課と連携した地産地消推進に取り組んでおり，次年度も継続していく。 |

５　閉　　会